

昭和女子大学 女性文化研究賞 候補作を読む

女性文化研究所では、学生・大学院生・教職員・社会人対象の読書会を開催しています。本年度は、第2回（2009年度）昭和女子大学女性文化研究賞の候補作をオムニバス形式で読んでいきます。学科・学年を問わず誰にでも開かれた読書会ですから、積極的に参加してください。
昭和女子大学学長・女性文化研究所長 坂東真理子

『ワーク・ライフ・バランスの経営学：社会化した自己 実現人と社会化した人材マネジメント』

（渡辺 峻著、中央経済社）

7月15日（木）16:30-18:00 学園本部館1階第1会議室

コーディネーター 杉田 あけみ

（女性文化研究所特別研究員、千葉経済大学短期大学部ビジネスライフ学科教授）

参加希望の方は、前日までに、女性文化研究所（学園本部館地下1階OM06）へ申し込んでください。電話（03-3411-5096）、E-mail（jobunken@swu.ac.jp）でも受け付けます。

*テキスト（プリント）は女性文化研究所で用意します。事前配布もしています。

後期の読書会は以下の本を予定しています。

11月 『女神の末裔：日本古典文学から辿るくさすらい』の生』
（小林とし子著、笠間書院）

12月 『メディアリテラシーとジェンダー：構成された情報とつくられる性のイメージ』（諸橋泰樹著、現代書館）

1月 『クィア物語論：近代アメリカ小説のクローゼット分析』
（松下千雅子著、人文書院）